

DATA FILE



斜方晶系

名 前	CAVANSITE (カバンサイト) / カバンシ石
化学組成	$\text{Ca}(\text{VO})\text{Si}_4\text{O}_{10} \cdot 4\text{H}_2\text{O}$
色	青色
光 沢	ガラス光沢
蛍 光	なし
条 痕	淡青色
劈 開	明瞭
断 口	不平坦
硬 度	3 ~ 4
比 重	2.2 ~ 2.3

カバンシ石

CAVANSITE

せき

劈開は明瞭で、ハンマーでたたくと不平坦な断口を示す。

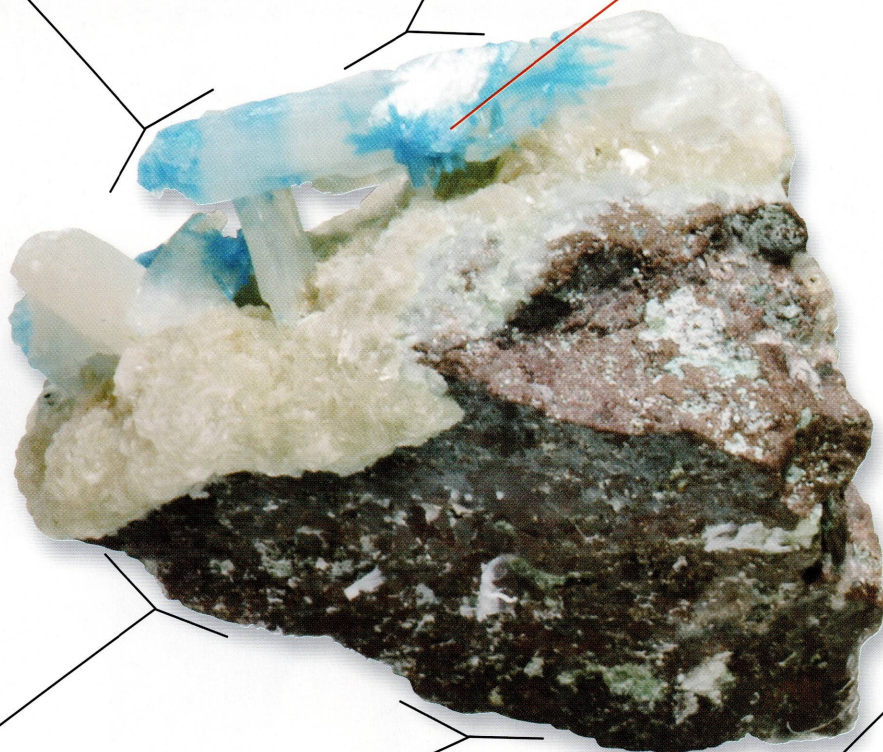
東沸石にともなって生成した微細な青色のカバンシ石。インド産。

主に玄武岩や凝灰岩中に生成する。

結晶は青色で、ガラスのような光沢を持つ。

ペンタゴン石と同質異像の関係にある。

素焼きの陶板にこすりつけると淡い青色の条痕が残る。



カバンシ石



▲微細な板状結晶の放射状集合体で生成したカバンシ石。

ペンタゴン石と同質異像

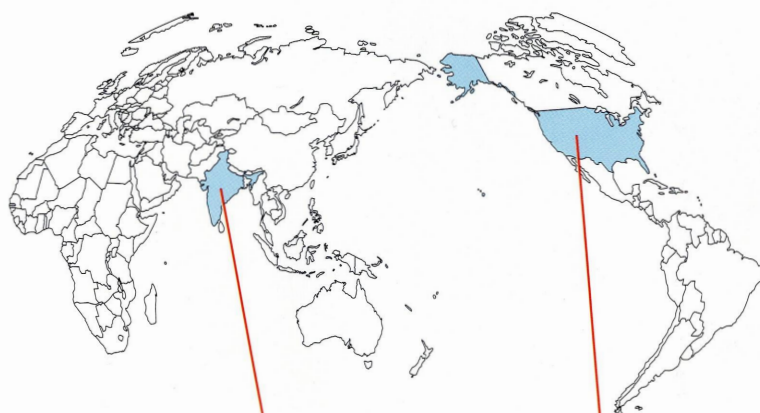
外見がよく似ているカバンシ石とペンタゴン石は、化学組成が全く同じで結晶構造が異なる同質異像の関係にある。両者を見分けるには、結晶の形状を観察すると良い。通常、カバンシ石は柱状や板状をしているが、ペンタゴン石は双晶して星のような形の五角柱状になっていることが多い。

鮮やかな青色結晶

カバンシ石は、アメリカのオレゴン州マリユール郡にあるオフィヒー湖州立公園で発見され、1973年に独立種と認められた。結晶は柱状または板状であらわれることが多いが、放射状の集合体を形成することもあり、主に玄武岩や凝灰岩中に輝沸石や束沸石などをともなって生成。鮮やかで印象的な青色は、成分中に含まれるバナジウムによるもので、バナジウムを含んで同じような青色であらわれる鉱物には、ペンタゴン石や魚眼石などがある。ちなみに、「カバンシ石」という鉱物名は、主要な成分であるカルシウム、バナジウム、シリコンを組み合わせる名づけられた。

▼カバンシ石は束沸石にともなって産することが多い。

主な産地



インド

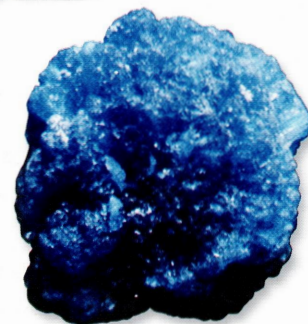


ムンバイ近郊の
プーナ地区とワゴ
リで産する。

アメリカ



オレゴン州マリユ
ール郡が原産地。



▶緻密な塊になったカバ
ンシ石の分離結晶。